科目名 (Eng)	経営分析論(Financial Statement Analysis)								
担当教員	渡部 美紀子								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学専攻	2	後期	選択	2	(30)	専門	A	○
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応:(C-1). (D-1).								
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:3).4).								
	JABEE基準1(1)との対応:d(1). d(2). g. h.								
授業の概要と方針	企業の経営分析の基本となる事項である，用語，分析手法について理解し，会社を総合的に評価する方法を学習する。								
到達目標	①会計情報を用いて企業の分析・評価をするフレームワークが理解出来る。 ②様々な経営指標を使って企業の財務経営分析が出来る。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	準備学習
後期	16	イントロダクション	会社分析の目的	
	17	財務分析の手法	実数比較分析，関連比率分析，キャッシュフロー分析	授業で取り上げた項目につき，よくその理論的根拠を考え，理解しておくこと。
	18	財務安全性分析(1)	流動比率，当座比率	
	19	財務安全性分析(2)	自己資本比率，固定比率	
	20	収益力比率(1)	総資本経常利益率，自己資本当期利益率	
	21	収益力比率(2)	売上総利益率，売上営業利益率他	
	22	収益力比率(3)	損益分岐点，限界利益率	
	23	会社の活性度の分析(1)	総資本回転率，売上債権回転率，棚卸資産回転率他	
	24	会社の活性度の分析(2)	減価償却率，設備投資効率	
	25	会社の発展性の分析	成長性，投資効率，社会貢献度	
	26	キャッシュフロー分析	営業キャッシュフロー，投資キャッシュフロー他	
	27	会社の人的要因の分析	年齢，一人当たり効率	
	28	会社のトータル評価	総合評価，見えない財産の価値	
	29	具ロールに通用する経営	外国企業，グローバル化への対応	
	30	総合演習	まとめ	

試験について	実施する。
評価方法	定期試験70%，課題30%で総合的に評価する。
教科書	『ビジネスゼミナール　経営分析入門』森田松太郎，日本経済新聞社
参考書	
関連科目	
履修上の注意	会計学および経営学の知識を身につけておくこと。自学自習の確認方法―学生に課題を与え，定期的に提出させる。